

Q16 ささいなことで感情的になるなど自己コントロールが苦手な子どもには、どう対応したらよいでしょうか

子どもの状態

自分勝手な言動が多く、自分の思うようにならないと、かっとなる。

感情的になると暴言を吐いたり、物を投げたり暴力を振るったりする。

周囲が制止しようとしても、かんしゃくがおさまらない。

状態の理解のポイント

- ・ 感情のコントロールが難しい。
- ・ 行動の結果を予想したり見通したりすることが難しい。
- ・ 周囲の不適切な反応が、本人の行動を強化している。
- ・ 自分の感情を言葉で伝えるのが苦手である。

考えられる対応

友達への暴力や危険な行為などに対しては、毅然とした態度で対応する。(図119)

- ・ 短く分かりやすい言葉で伝える。
- ・ 感情的にならない。
- ・ 行動を叱っても人格を否定しない。

かっとなったとき、気持ちを静める手段を教える。(図120)

- ・ 先生に助けを求める。
- ・ 心の中で「1, 2, 3」と数を数える。
- ・ その場を離れる。

暴力を振るったり暴言を吐いたりしたときは、落ち着いた後、本当はどうすればよかったのかを考えるようにする。

「したかったんだね。」と、子どもの感情を受け止めるようにする。

本人が興奮しているときは、周囲はできるだけ反応しないようにする。

- ・ トラブルの相手の子どもを遠ざける。
- ・ 本人を静かな別の場所へ誘導する。(図121)
- ・ 大きな声で注意したり叱ったりしない。
- ・ 周囲の子どもたちがはやし立てない。

家庭との連絡を密にし、感情的になった際の対応について共通理解を図るようにする。



図119 注意の仕方



図120 気持ちの静め方



図121 場所の移動